

○議長（茅沼隆文）

続いて、日程第7 認定第7号 決算認定について（水道事業会計）、日程第8 議案第39号 水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてをあわせて細部説明を担当課長に求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長（熊澤勝己）

では、朗読をさせていただきます。

認定第7号 決算認定について。

地方公営企業法第30条第4項の規定により、平成27年度開成町水道事業会計歳入歳出決算は別冊のとおりにつき、監査委員の意見をつけて認定を求めます。

平成28年9月6日提出、開成町長、府川裕一。

1枚おめくりください。

議案第39号 平成27年度開成町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について。

平成27年度水道事業会計未処分利益剰余金を別冊のとおり処分する。よって、地方公営企業法第32条第2項の規定により議会の議決を求める。

平成28年9月6日提出、開成町長、府川裕一。

この議案は、別冊の決算書の286ページにあります平成27年度開成町水道事業剰余金処分計算書（案）になります。この内容の説明につきましては、後ほど決算認定の説明の中で説明をいたします。

恐れ入りますが、決算書の291ページをお開きください。

平成27年度開成町水道事業報告書の概要を朗読いたします。

1、概要。（1）総括事項。

平成28年3月31日現在の給水装置使用数は前年度比3.03%増で212個増の7,189個、給水人口は前年度比1.56%増で265人増の1万7,204人となりました。年間有収水量は、今年度がうるう年のため、前年度より2,602立方メートル増の193万9,102立方メートル、1日平均給水量は節水意識向上のため前年度より7立方メートル減の5,298立方メートルで、前年度比0.13%の減でした。

建設改良事業は、町道119号線配水管布設工事を行いました。

増設改良事業は、高台第一浄水場のポンプ井更新工事及び配水ポンプ制御盤改修工事、高台第二浄水場内配水管更新工事や下水道工事に伴います町道105号線配水管布設工事等を行いました。

営業収支では、事業収益全体として、2億1,970万4,320円、前年度比8.05%の減収となりました。事業支出全体は1億8,865万3,841円、前年度比3.33%の減額となりました。結果として事業収益が事業支出を上回ったことにより、総体としては3,105万479円の純利益となりました。

決算書の278ページにお戻りください。

平成27年度開成町水道事業決算報告書です。

1、収益的収入及び支出の収入です。第1款水道事業収益、予算額2億4,059万4,000円に対し決算額は2億3,495万8,666円で、予算額に比べ563万5,334円の減収となりました。

第1項営業収益、予算額2億2,054万9,000円に対し決算額は2億1,468万1,061円で、586万7,939円の減収となりました。

2項営業外収益、予算額2,004万5,000円に対し決算額は2,027万7,604円で、23万2,605円の増収でありました。

次に、支出です。第11款水道事業費用、予算額2億4,059万4,000円に対し決算額は1億9,859万8,075円で、執行率は82.5%、不用額は4,199万5,925円であります。

第1項営業費用、補正予算額273万6,000円の減額は、職員の給与費等でございます。予備費支出額387万4,319円は、有形固定資産償却費等の増額、予算額1億7,131万9,319円に対し決算額は1億6,593万1,167円で、不用額は538万8,152円であります。

第2項営業外費用、予備費支出額52万7,600円は、消費税の不足分の負担です。予算額3,290万1,600円に対し決算額は3,264万3,590円で、不用額は25万8,010円であります。

第3項予備費、補正予算額273万6,000円は、営業費用の補正額に伴う増額です。予備費支出額は442万5,237円となり、予算額3,634万9,763円となりました。決算額は0円でございます。

第8項特別損失は、2件の還付による過年度損益修正損2万3,318円を予備費から充用いたしました。

続きまして、280ページをお開きください。

基本的収入及び支出の収入です。第2款、基本的収入です。予算額5,343万円に対し決算額は5,239万8,520円で、予算額に比べ103万1,480円の減収となりました。

第1項分担金、予算額403万円に対し決算額は306万円で、97万円の減額。減額は、下水道工事に伴う水道管布設替え工事の分担金の減収です。

第2項負担金、予算額160万円に対し決算額は153万8,520円で、6万1,480円の減収であります。

第5項企業債、予算額4,780万円に対し決算額も同額の4,780万円です。次に、支出です。

12款資本的支出、補正額103万6,000円の減額を行い、補正後の予算額1億6,597万9,000円に対し決算額は1億5,491万777円で、執行率は93.3%です。不用額は1,106万8,923円です。

第1項建設改良費、補正額130万円の減額は工事請負費の減額であります。予算額670万円に対し決算額は668万5,200円で、不用額は1万4,800円で

す。

第2項増設改良費、補正予算額26万4,000円の増額は職員給与費等でございます。予算額8,980万2,000円に対し決算額は8,174万8,034円で、不用額は805万3,966円でございます。不用額の主な要因は、入札の執行残でございます。

第3項企業債償還金、予算額6,647万7,000円に対し決算額は6,647万6,843円で、不用額は157円でございます。

第4項予備費の支出額はありません。予算額は300万円で、決算額は0円でございます。

なお、欄外の下に記載してあります金額等は、資本的収入額が資本的支出額に対して不足が生じたので、公営企業法の会計処理方法により補填したものでございます。

それでは、別冊の決算書説明資料の92、93ページをお開きください。決算書は297ページになります。

歳入です。収益的収入の水道事業収益、給水収益の水道使用料は、平成27年度に調定した件数は4万2,987件でございます。前年度より70万4,000円の増収となりました。

受託工事収益の給水工事加入金は167件の新加入者の水道加入金等で、前年度につきましては、駅東に建ちましたインフラレジデンス等の加入金がありましたので、前年度よりも1,825万円の減収でございます。

その他の営業収益の手数料は給水工事設計審査や下水道使用料徴収等の手数料で、前年度より75万1,000円の減収です。

雑収入は、仮設メーター賃借料が11件、仮設メーターの水道使用料が12件、検満メーターの売却が、これは595個の売却費及び水道の放射能検査等の費用を東京電力から損害賠償としてもらった費用でございます。

他会計負担金は、378基の消火栓の維持管理費でございます。

営業外収益、受取利息及び配当金は定期預金、国債、県民債に係る預金利息でございます。長期前受金戻入益は、減価償却費のうち補助金等で不足しました部分の戻入益で、会計上の歳入になります。実際の歳入はありません。

雑収益は、東京ガスから小田急電鉄軌道敷の地下埋設用地使用料になります。

続いて、資本的収入になります。決算書では300ページになります。

資本的収入、分担金、配水管布設分担金は、下水道工事に伴う配水管布設替え工事に係る分担金です。前年度より263万7,000円の増です。

負担金、他会計負担金、消火栓設置費負担金は、消火栓設置1基、消火栓補修2基、消火栓ボックス交換2基に係る負担金で、前年度より82万5,000円の減です。

企業債、企業債は配水管布設工事4件に係る起債で、地方公共団体金融機構資金から1件でございます。

次に、94.95ページをお開きください。歳出になります。決算書は298ペー

ジからになります。

収益支出から説明いたします。水道事業費用、営業費用、原水浄水配水及び給水費は、水質検査、配水管漏水調査、浄水場次亜塩素注入ポンプ点検整備工事、滅菌装置の保守点検及び電気設備の保安等の委託、漏水当番経費や給・配水管の維持管理等の工事を実施しました。

2目受託工事費は、町道118号線制水弁高さ調整工事や漏水修理工事を行いました。前年度より40万9,000円の増となります。

3目総係費は、水道事業運営上全般に要する費用で、テレメータの回線利用による浄水場施設の監視等により、効率的な水道事業を行いました。

4目有形固定資産償却費は、建物、建築物、機械及び装置等の有形固定資産の減価償却費でございます。

5目資産減耗費は、下水道工事に伴う配水管の撤去や配水ポンプ制御盤改修に伴う構築物、機械及び装置の除却経費でございます。

営業外費用、1目支払利息は、平成27年度当初企業債残高11億2,812万5,000円に対する利子返済分でございます。前年度より193万7,000円の減でございます。

3目雑支出は、消費税端数の調整でございます。

特別損失、1目過年度損益修正損は、水道使用料の過年度水道使用料還付2件になります。

続きまして、資本的支出です。決算書は301ページになります。

資本的支出、建設改良費、1目拡張事業費は、町道119号線配水管布設工事を行いました。前年度より1,017万5,000円の減でございます。

増設改良費、1目配水施設整備工事費は、高台第一浄水場ポンプ井更新工事、配水ポンプ制御盤改修工事ほか1件の浄水場施設の更新工事と、下水道工事に伴う町道105号線配水管布設替え工事、及び消火栓設置1カ所、消火栓補修2カ所、消火栓ボックス交換工事2カ所を行いました。前年度より1,507万4,000円の増でございます。

2目メーター費は、計量法に基づく608件の検満メーターの取りかえ工事と784個のメーターを購入いたしました。

企業債償還金、1目企業債償還金は、平成27年度当初企業債残高11億2,812万5,000円に対する残金返済でございます。前年度より135万2,000円の増となっております。

説明資料の最後に、資料4で工事箇所を添付しております。後ほど、御覧いただきたいと思っております。

恐れ入りますが、決算書の282ページをお願いいたします。

平成27年度開成町水道事業損益計算書でございます。なお、全ての収益等費用は税抜きで記載しております。

1の営業収益は水道使用料、給水工事加入金が主なものであり、営業収益合計は1

億9,942万6,715円となりました。2の営業費用は水道事業を運営する上で施設管理費や事務的経費、有形固定資産の減価償却、資産減耗費であり、営業費用の合計は1億6,351万4,532円です。営業収益から営業費用を差し引いた営業利益は3,591万2,183円となります。

3の営業外収益は受取利息、長期前受金戻入と雑収益が主なもので、収益合計は2,027万7,605円、4の営業外費用は企業債の支払利息が主なもので、その合計は2,511万5,991円、営業外収支は支出超過の483万8,386円となります。

5の特別損失は、1の過年度損益修正損の2万3,318円です。当年度の純利益は、営業利益から営業外収益の支出超過額と特別損失を差し引きました3,105万479円となりました。この純利益に前年度繰越利益剰余金3,040万7,201円を加えた6,145万7,680円が当年度未処分利益剰余金となります。

284ページをお願いいたします。

開成町水道事業剰余金計算書です。平成26年度から表形式となりました。表左上段の前年度末残高から中段の処分後残高までの表上段にあります資本金、資本剰余金及び利益剰余金は、平成26年度の決算議会により処分をされました。平成26年度末の資本合計は、資本金と資本剰余金及び利益剰余金の処分後残高の合計15億5,248万275円になります。当年度変動額は、当年度純利益が3,105万479円が未処分利益剰余金として計上され、資本合計は前年度末残高の15億5,248万275円に当年度変動額の利益剰余金合計3,105万479円を加えました15億8,353万754円となります。

次に、286ページをおめぐりください。

平成27年度開成町水道事業剰余金処分計算書（案）でございます。こちらが、議案第39号になります。

当年度未処分利益剰余金6,145万7,680円から企業債償還に充てる減債積立金を1,000万円、建設事業に充てる建設改良積立金を2,000万円を積み立てまして、残金の3,145万7,680円を翌年度繰越利益剰余金とする案でございます。

続きまして、288ページをお開きください。

平成27年度開成町水道事業予定貸借対照表について、御説明をいたします。

資産の分です。1、固定資産は、1、有形固定資産のイの土地からトの建設仮勘定まで、有形固定資産合計28億8,831万842円と、2、無形固定資産のイ、電話加入権21万3,040円と3、投資その他の資産のイ、リサイクル預託金9,130円を加え、固定資産合計が26億8,853万3,012円となります。2の流動資産は、1、現金預金から3の貯蔵品の流動資産合計が5億9,163万9,227円となります。資産合計は、固定資産合計と流動資産合計を加えまして、32億8,017万2,239円となりました。

289ページをお願いいたします。

次に、負債の部です。3、固定負債は、1、企業債と2、引当金のイの修繕引当金の合計10億4,840万2,429円。4、流動負債は、1、一時借入金から4、引当金の合計1億237万7,616円でした。5、繰延収益は、1の長期前受金のイからホの合計5億4,586万1,440円となります。負債合計は、固定負債合計、流動負債合計と繰延収益合計を加えまして16億9,664万1,485円となります。

次の290ページをお開きください。

資本の部でございます。6の資本金、(1)の自己資本金のイの固定資本金からハの出資金の合計14億2,896万3,074円、7、剰余金の(1)資本剰余金は、平成27年度の決算議会で負債の部の繰延収益の項に移設したため、こちらはありません。2の利益剰余金は、イの建設改良積立金からハの未処分利益剰余金を加えた1億5,456万7,680円となります。

資本合計は、資本金合計と利益剰余金を合わせた15億8,353万754円となります。負債と資本を合わせました、負債資本合計は、32億8,017万2,239円となります。

最後に、295ページをお開きください。

平成27年度開成町水道事業のキャッシュ・フロー計算書でございます。

1、営業活動によるキャッシュ・フロー、1の当年度純利益の3,105万479円と2の営業活動から得た現金預金への当年度純利益の調整のイの有形固定資産原課償却費からホの営業活動以外による資産及び負債の増減額までの小計1億5,057万1,106円に、受取利息及び配当金受入額、支払利息及び企業債取扱諸費支払額を加えた金額が営業活動から得た現金預金(純額)として1億2,570万6,286円となります。

次に、2の投資活動によるキャッシュ・フローです。1の固定資産の取得による支出(建設改良費)と2の上記(1)実施に係る負担金等収入の合計が投資活動から得た現金預金(純額)となり、7,853万8,931円のマイナスとなります。

次に、3の財務活動によるキャッシュ・フローです。1の企業債の発行と2の企業の償還の合計が財務活動から得た現金預金(純額)となり、1,867万6,843円のマイナスとなります。

4の現金預金及び現金等価物増加額・減少額は、1の営業活動から得た現金預金(純額)、2の投資活動から得た現金預金(純額)と3の財務活動から得た現金預金(純額)の合計となり、2,849万512円の増額となります。

5の現金預金及び現金等価物期首残高5億3,767万3,652円を加えました6の現金預金及び現金等価物期末残高は、5億6,616万4,164円となります。

こちらの金額ですけれども、資料の303ページをお開きください。

303ページの中段にあります預金現金金融機関別明細書の現在の預金残高が、こちらに書いてあります。こちらの合計と先ほどのキャッシュ・フローの6の現金預金及び現金等価物期末残高が同額となっております。

説明は以上です。

○議長（茅沼隆文）

これで、認定第7号 決算認定について（水道事業会計）及び議案第39号 水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての細部説明を終了いたします。